# Takasago 社協だより

平成25年５月１日発行　249号　社会福祉法人 高砂市社会福祉協議会

編集・発行　高砂市高砂町朝日町1-2-1福祉保健センター内
電話　079-443-3720　FAX　079-443-0505
ホームページ　http://www.takasago-syakyo.or.jp/

主な内容

P2・3　平成25年度の事業計画と予算が決まりました
P4・5　ボランティア活動センターの事業紹介
P6　高砂市地域包括支援センターだより Vol.59
P7　ボランティアリポート
保存版　第５期高砂市地域福祉推進計画（概要版）

## 5月5日～11日は、『児童福祉週間』です

### 『君がいる ただそれだけで うれしいよ』

（平成25年度 児童週間標語）

厚生労働省では、子どもや家庭、子どもの健やかな成長について国民全体で考えることを目的に、毎年５月５日の「こどもの日」から１週間を「児童福祉週間」と定めています。

＜ファミリーサポートセンター　お楽しみ交流会（3/23 開催）＞

高砂市社会福祉協議会では、高砂市より委託を受け「ファミリーサポートセンター事業」を実施しています。
子育て中の親子が地域の中で孤立することなく、近所のおじちゃん、おばちゃんたちに見守られながら安心して子育てができる環境づくりを行っています。（Ｐ９参照）

5月号

この機関誌は共同募金配分金により発行しています。

# と予算が決まりました

## 重点推進項目（要旨抜粋）

### 1　計画の推進と組織、経営基盤等の強化

組織、経営基盤等の強化に活用できる自主財源の拡充、善意銀行寄附金、共同募金等の財源を適正に地域に還元する事業を展開し、市民の意思が反映される組織運営に努めるとともに、平成24年度に策定した「**第５期地域福祉推進計画**」の周知及び事業展開を図ります。

### 2　市民への情報提供及び啓発の推進

広報活動については、**社協だより**を年12回発行し、**ホームページ**と併せて、その内容を一層充実させ、市民が求める情報の提供と収集に努めます。

また、本年23回目となる**「みんなの社協フェア2013」**を11/3(日)に開催（予定）し、福祉情報の提供と市民の福祉意識の啓発に引き続き取り組みます。

### 3　ボランティア事業の展開と福祉教育の推進

熟年層、若年層（青少年）のボランティア活動への参加のきっかけづくりを行うとともに、ニーズに応じたボランティアの育成を行います。

また、継続して、市と協働し**災害時支援ボランティア**の養成・研修を行い、災害ボランティアセンター運営マニュアルの充実を図ります。

### 4　地域ネットワークづくり（ふれあいのまちづくり事業）の推進

福祉委員の任期満了に伴い、**第９期福祉委員**を新たに委嘱し、さらなる小地域福祉活動の推進に取り組みます。さらに、**「ふれあいいきいきサロン事業」**の拡充を図り、生きがいを持って暮らせる地域づくりを推進します。

また、要援護者実態調査を通じ、援護が必要な高齢者等が適切な支援を受けられるよう地域見守り運動事業を行うとともに、高齢者等の安否確認を兼ねたひとり暮らし高齢者食事サービス事業を引き続き実施します。

### 5　自立支援に向けたサービス提供と安心して暮らせる環境づくりの推進

**介護保険事業、障害福祉サービス事業、生きがい対応型デイサービス事業**や**生活福祉資金貸付事業、福祉サービス利用援助事業**においては、高齢者や障がいのある人が住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう支援します。

さらに、**地域包括支援センター**では、地域包括ケアの実現に向けた取り組みを行うとともに、**ファミリーサポートセンター**においては、子育て中の家庭を地域で支援し、安心して子育てができる環境づくりを推進します。

# 平成25年度の事業計画

## 事業方針

### 「一人ひとりが思いやり　心ふれあう　ぬくもりのまち」をめざして

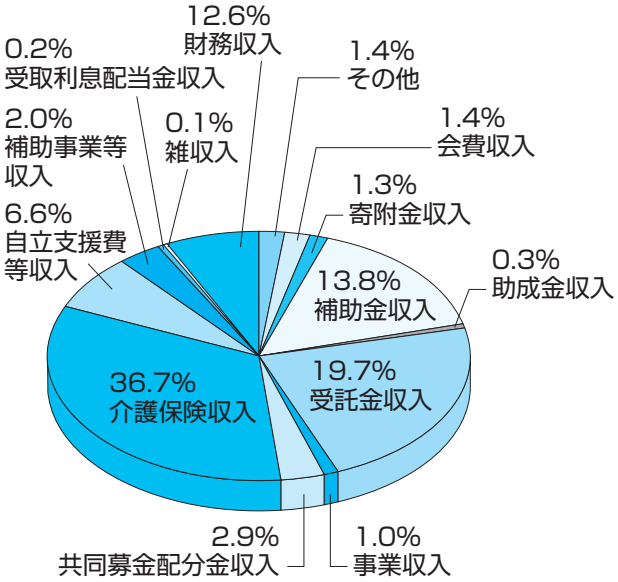
平成25年３月27日に開催された評議員会において、平成25年度の事業計画及び予算が承認されました。

高砂市においても、少子・高齢化社会が進展し、人口減少化社会を迎え、核家族化の進行による家族や地域の絆が失われ、いわゆる「無縁社会」と呼ばれています。本協議会では、地域福祉の増進を図っていくため、高齢者・児童・障がい者や生活困窮者への支援、さらに今後の災害時に備え、ボランティア人材の確保等あらゆる面で市民が住みよいと思えるまちをめざし事業展開を図ります。

平成25年度の事業計画では、５つの重点推進項目を掲げ、高砂市の地域福祉推進に向けて多くの地域住民、福祉関係者及び高砂市などとの協力・連携を密にし、地域福祉の充実に努めてまいります。

## 予算

**収入　474,852千円**




**支出　471,735千円**

**【法人総合収支予算（経理区分別）】**　（単位:千円）

| 区分 | 経理区分名 | 収入合計 | 支出合計 | 当期資金収支差額 |
|---|---|---|---|---|
| 一般会計 | 法人運営事業 | 64,003 | 70,519 | ▲ 6,516 |
| | 共同募金配分金事業 | 13,888 | 13,888 | 0 |
| | 善意銀行運営事業 | 6,003 | 5,914 | 89 |
| | ボランティア活動センター事業 | 9,264 | 11,260 | ▲ 1,996 |
| | 居宅介護等事業 | 146,653 | 132,986 | 13,667 |
| | 障害者（児）居宅介護等事業 | 61,192 | 59,344 | 1,848 |
| | 老人居宅等介護事業 | 770 | 594 | 176 |
| | 生きがい型デイサービス事業 | 7,185 | 7,185 | 0 |
| | ふれあいのまちづくり推進事業 | 34,811 | 38,444 | ▲ 3,633 |
| | 資金貸付事業 | 3,113 | 3,113 | 0 |
| | 福祉サービス利用援助事業 | 2,698 | 3,628 | ▲ 930 |
| 特別会計 | 地域包括支援センター事業 | 117,411 | 116,859 | 552 |
| | ファミリーサポートセンター事業 | 7,861 | 8,001 | ▲ 140 |
| 法人総合（①） | | 474,852 | 471,735 | 3,117 |
| 前期末支払資金残高（②） | | | | 200,850 |
| 当期末支払資金残高（①+②） | | | | 203,967 |

# ボランティア登録しませんか?

いざ「ボランティア活動をはじめよう！」と決心したけど、どこでどのような活動をしたらよいのかが分からないあなた！

## Step 1 まずはお電話ください！

・直接、お越しいただいても構いませんが、事前にお電話で訪問いただける日時等をお知らせください。

## Step 2 どんなボランティアをしてみたいですか？

・活動したいボランティアの内容が決まっていなくても、趣味や特技、経験等お話しいただければ、どんなボランティアができそうかアドバイスいたします。

## Step 3 いつ活動できますか？

・条件にあった活動を紹介するために、活動できるペース（月に何回、週に何回など）と活動できる地域の範囲や交通手段などをお知らせください。

## Step 4 登録をしよう！

・活動したい内容や活動の条件が決まったら、登録をしよう！

## Step 5 ボランティア活動の紹介

・条件に合う活動やグループ・団体があれば、その場で紹介いたします。もしその時に見つからなければ、条件に合うボランティア依頼が来たときにご連絡させていただきます。また必要に応じて、研修や講座などの案内もいたします。

◆開館時間　月～土曜日　8:30～17:15
※ただし、祝日、年末年始は除きます。

◆ お問い合わせ ◆

電話 442-4047（直通） FAX 443-0505
mail tast4047@takasago-syakyo.or.jp

### ボランティア登録状況

〈平成25年３月31日現在〉

| | |
|---|---|
| 登録団体 | 35グループ（708名） |
| 個人ボランティア | 107名 |
| 計 | 815名 |

# ボランティア活動センターでは こんな事しています!!

## ～平成25年度ボランティア活動センター事業の紹介～

「ボランティア活動をしたい」「ボランティアに来てほしい」など、ボランティアに関する相談窓口です。また、講座の開催や情報誌の発行、福祉教育推進事業などを行なっています。

### ■ボランティア入門・体験事業

ボランティア活動センターでは、ボランティア活動を始めたい人の「きっかけ」になるよう、次の事業を実施します。

**【一歩踏み出すきっかけに】**

**話し相手ボランティア入門教室**
6月19日(水)～7月17日(水)　(全5回)

**発達障がい児・者サポートボランティア入門教室**
平成26年1月～2月　(全4回)

**【参加対象別】**

**チャレンジジュニアボランティア2013**
7月下旬～8月上旬

小・中学生を対象に、夏休みを利用して福祉やボランティア活動について理解を深め、普段の学校生活では体験できない、障がい者理解等について学ぶことを目的に開催。

**サマーボランティア体験教室**
7月下旬～8月上旬

高校生以上の学生を対象に、夏休みを利用してボランティア活動の啓発を図ることを目的に開催。

**熟年ボランティア入門教室**
平成26年2月中旬　(全5回)

団塊の世代や熟年層が退職後の生き方について、また地域社会における役割について考えてもらい、その中で自分に合ったボランティア活動が見つかるように広く紹介することを目的に開催。

### ■技術系ボランティア養成事業

専門技術を学習し、障がい者の日常生活や子育て支援に関わるボランティアの養成を行います。

**おはなしボランティア養成講座**
5月22日(水)～7月17日(水)　(全8回)

絵本の読み聞かせやストーリーテリング(お話)の技術を習得し、子育て支援に関わるボランティアの養成を目的に開催。

**要約筆記ボランティア養成講座**
5月23日(木)～7月25日(木)　(全10回)

聴覚障がい者の支援を目的として、必要な情報を要約筆記により提供するボランティアの養成を行なうとともに、聴覚障がい者への理解を深めることを目的に開催。

**朗読ボランティア養成講座**
9月20日(金)～平成26年3月7日(金)　(全20回)

視覚障がい者の支援を目的として、必要な情報を声に換えて提供するボランティアの養成を行なうとともに、視覚障がい者への理解を深めることを目的に開催。

### ■その他の事業

①災害ボランティアセンター啓発事業
②市民活動啓発事業
③企業ボランティア啓発事業
④みんなでこころみ楽リエーション
⑤ボランティアステップアップ研修

# 高砂市地域包括支援センターだより Vol.59

## 地域包括支援センター年間事業報告

地域包括支援センターでは、高齢者が住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続できるよう、①総合相談支援事業、②権利擁護事業、③包括的・継続的ケアマネジメント事業、④介護予防ケアマネジメント事業の４事業を着実に推進し、地域包括ケアの実現に向けた取り組みに努めています。

平成 24 年度は、以下の事業を行いました。

### 1　総合相談・支援業務

**＊介護何でも出前講座＊**

介護予防についての相談・支援を目的に、地域に出向いて出前講座（音楽療法、健康についての話など）を年13回開催しました。

**＊介護者のつどい＊**

高齢者を介護している家族や介護に関心のある人などを対象とし①介護知識、技術の提供②介護・医療・福祉サービス活用への支援③介護や福祉の知識についての啓発④介護者のリフレッシュを図ることを目的に、年３回開催しました。

**＊認知症サポーター養成講座＊**

市民を対象に、認知症について正しい知識を持ち、認知症の人や家族を支援し、だれもが暮らしやすい地域を作っていくために、認知症サポーター養成講座を年５回開催しました。

### 2　権利擁護業務

**＊権利擁護事業＊**

市民等からの権利擁護に関する相談に対応し、成年後見制度の利用申し立て等の援助を行いました。悪徳商法や不当請求について、地域のみなさんに消費者被害の予防について学んでいただくために講演会を開催しました。

### 3　包括的・継続的ケアマネジメント業務

**＊福祉マップづくり＊**

情報支援を目的に、高齢者福祉マップを作成し、市内の主な公共機関や関係者に配布しました。

**＊施設間ネットワーク＊**

福祉施設間の情報共有と交流を目的に、また適切なサービス提供を円滑に行えるよう研修会等を年7回開催しました。

▲権利擁護講演会

▲介護何でも出前講座

### 4　介護予防ケアマネジメント業務

要支援１又は２と認定された人に、介護保険の介護サービスを利用できるよう介護予防ケアマネジメントを行い、支援しました。また要介護・要支援状態に移行するおそれのある高齢者を訪問し市が実施する『笑顔でよいしょ教室』などへ勧奨しました。

### その他

**＊要援護者実態調査＊**

行政・地域・社協が一体となって、ひとり暮らしの高齢者、高齢者を含む２人暮らし世帯、寝たきり者、障がい者（若年の方も含む）等の自宅へ民生委員、福祉委員等が訪問し、調査を行いました。この調査は、援護を必要とする人を早期に発見し、地域と専門機関がネットワークを組んで対応し、安心して暮らせる地域を作っていくことを目的としています。詳しくは、次号で報告いたします。

### 子ども用車いすを購入しました

赤い羽根共同募金配分金を活用し、子ども用車イスを３台購入しました。

貸し出し希望の方は、下記までお電話下さい。

貸出は無料です。

問合せ先　高砂市地域包括支援センター
☎４４３－３７２３

# Vリポート

～こんな行事がありました～

## 平成24年度災害時支援ボランティア研修会開催

3月3日(日)、高砂市と協働で災害時支援ボランティア登録者及びボランティア活動センター登録者を対象に災害時支援ボランティア研修会を開催し36名の参加がありました。

市危機管理室の川平係長より「減災と危機管理～災害から自分や家族を守るには、また地域で守るには～」をテーマに、災害時に迅速かつ効果的な救援活動を行うにはどうすればよいかについて、一昨年の台風12号や東日本大震災、阪神・淡路大震災の事例に基づいて講義がありました。

参加者からは「平常時から防災対策として何ができるのか?」「災害が起こった時、指定された避難場所に逃げた方が安全か?」「一人暮らしや高齢者、障がい者の支援をどのようにしていけばよいのか?」等の質問が相次ぎ、このような事前の対策が大切であるとともに、地域で情報を共有できるシステムづくりが必要なことを再確認できた研修でした。

## 市民活動啓発事業「介護予防教室」開催

3月9日(土)、NPO法人「てのひら」と協働で介護予防教室を開催し15名の参加がありました。

最初にゴーグルや耳栓を付けて聴力や視力が年齢を重ねるとともにどのように低下するかを体験し、その後リビングてのひらの北本生活相談員より「健康維持と介護予防」をテーマに講義を行いました。健康を維持していくには家に閉じこもらないで日頃から社会との接点をもって暮らしていくこと。それには自分たちの生活している地域を基盤に活動の場を見つけていくことが大切である。例え介護が必要になったとしても、社会や地域とつながっていることが大きな支えとなるというお話には参加者が共感していました。

**〈参加者の感想〉**

＊体験において、目が見えにくいという不安と少しの段差も不便であると感じました。

＊人とのつながりが大事ではないかと考えさせられた。

＊介護が必要となっても、できるだけ自宅で生活したいと思いました。

## 『熟年ボランティア入門教室』開催　2月13日(水)～3月13日(水)

定年退職された方や子育てが一段落した50歳以上の熟年層を対象に開催し21名の参加がありました。

「セカンドステージの楽しみ方」や「人に好かれる話し方」と題した講義を受けたのち、それぞれ興味のある活動を体験して頂きました。

**〈参加者の声〉**

＊心と体の健康がボランティアの基本であると再確認した。

＊無理をせず、自分に出来るボランティア活動に参加したい。

＊受講者の方と気軽に話し合うことができ、新たな仲間づくりができた。

＊バランスの良い食事の重要性をいろいろな例をあげて説明され再認識した。そして「食育活動」の大切さも感じた。
(「体にやさしい料理教室」の体験より)

＊ひとつの花に気持ちがほぐれ、体が疲れることもなく軽くすっきりし、活動に参加したいと思った。
(「公園や花壇整備で美しいまちづくりを」の体験より)

# 赤い羽根共同募金助成案内

「共同募金運動」でお寄せいただいた募金を、市内で福祉活動等を行う団体及び施設等の健全な団体運営及び事業運営を支援するため、「高砂市共同募金委員会地域福祉事業」として助成するもので、希望する団体、グループを募集します。

## 団体運営費

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 助成対象事業 | 団体の維持管理経費 |
| 2 | 助成対象団体 | 市内で、地域福祉の推進を目的に設置された団体及び施設、地域でボランティア活動を行っているグループ及び共同募金会が認めた団体で運営費が逼迫している状況にある団体 |
| 3 | 助成対象財政状況等 | 前年度の決算繰越金が当該年度収入額の概ね20%を下回る状況で、かつ原則として会計規模が前年度と同様程度であると認められる場合等 |
| 4 | 助成金額 | 概ね、年間運営費の10%以内 |
| 5 | 提出書類 | 地域福祉団体等運営費助成申請書（様式第１号）、団体概要書（様式第３号）、前年度決算書及び事業報告書、当年度予算書及び事業計画書 |
| 6 | 選考方法 | 書類審査　ヒアリング |

## 事業経費

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 助成対象事業 | 事業経費<br>①地域福祉事業等に関する行事の開催経費<br>（ただし、同様と認められる事業については、２年を限度とする。また、人件費、食糧費、記念品代、景品代等は対象外とする）<br>②団体の事業実施及び施設に必要な器具備品購入費<br>（ただし、原則前年度助成を受けた者は、対象外とする）<br>③新たに設置する施設等の設備費 |
| 2 | 助成対象団体 | 市内で、地域福祉の推進を目的に設置された団体及び施設、地域でボランティア活動を行っているグループ及び共同募金会が認めた団体 |
| 3 | 助成対象財政状況等 | 事業開催等経費により運営経理上に支障が認められる場合等、長期積立等による事業実施に不足を生じる場合等 |
| 4 | 助成金額 | 経費の３／４以内（百円単位切り捨て）で50万円以内（ただし、募金委員会が認めた場合は、この限りでない） |
| 5 | 提出書類 | 地域福祉事業開催経費等助成申請書（様式第２号）、団体概要書（様式第３号）、当該事業計画書、前年度決算書及び事業報告書、当年度予算書及び事業計画書 |
| 6 | 選考方法 | 書類審査　ヒアリング　現地調査 |

【応募先、問い合わせ先】**申込締切日 5月21日（火）**

※助成申請書は、高砂市共同募金委員会事務局にあります。
または、ホームページよりダウンロードできます。

高砂市共同募金委員会事務局（高砂市社会福祉協議会法人経営部門 総務担当内）
〒676-0021　高砂市高砂町朝日町1-2-1　高砂市福祉保健センター内
TEL　079−443−3720　FAX　079−443−0505

# 生きがい対応型デイサービスセンターだより

**生きがい対応型デイサービスセンターとは…**

- 高砂市より委託を受け、生きがいを持って社会生活を送るための憩いや交流を行うところです。
- おおむね60歳以上で高砂市に住所を有し、介護保険サービスを受けていない方が利用できます。
- 利用の登録が必要です。

## デイサービスセンター（高砂町東浜町）

### 5月の定例行事

**午前 10:00～**

1日(水)　絵手紙
8日(水)　折り紙
10日(金)　いきいき体操
20日(月)　うたの会
23日(木)　おしゃべり会
28日(火)　ゆうゆう体操

**午後 1:30～**

2日(木)　囲碁ボール㊍
10日(金)　コミュニケーションマージャン
14日(火)　囲碁ボール㊋

**囲碁・将棋（午後 1:00～）**

1日(水)・8日(水)・13日(月)
22日(水)・24日(金)・27日(月)
29日(水)・31日(金)

## わくわくフェスタ まち散策

伊保地区を散策しながら巡ります。

日　　時：5月17日(金)13:30～16:00
集合場所：高砂市役所　正面玄関(13:20集合)
講　　師：歴史ガイドクラブ会員
参 加 費：200円
持 ち 物：動きやすい服装・帽子・飲み物
定　　員：20名
申込締切：5月14日(火)

## 地域出前型茶話会 わきあいあいサロン

介護予防を目的とした体操やゲームを行います。60歳以上の人が参加できます。気軽にご参加ください。

**中筋公民館　2階 集会室**

日　　程：5月15日(水)・6月19日(水)
　　7月17日(水)・8月21日(水)
時　　間：13:30～15:30
参 加 費：各150円　定員：各15名
申込締切：開催日の3日前まで

問合せ・申込み　**生きがい対応型デイサービスセンター**　高砂市高砂町東浜町 1266-1　電話：**444－3030**

# 高砂市ファミリーサポートセンターです！

ファミリーサポートセンターでは、「子育ての援助を受けたい人」と「援助を行いたい人」が「依頼・提供・両方会員」となり、お互いに助け合いながら地域の中で子育ての相互援助活動を行っています。
みなさんもファミリーサポートセンターの会員になりませんか？

## 第1回入会説明会

この説明会に参加されると登録できますので、ぜひこの機会にご参加ください。登録は無料です。

〈日時〉5月18日(土)10:00～11:30
〈場所〉福祉保健センター2階　視聴覚障害者室
〈対象〉子育ての援助を受けたい人
（市内在住又は在勤の人でおおむね生後6ヵ月から小学校6年生のお子さんがおられる人）
〈定員〉15名
〈託児〉定員10名（対象：6ヵ月以上の子ども）
〈締切〉5月16日(木)
※登録をお急ぎの場合は、センターにお問い合わせください。

## 第1回交流会 ファミサポミニミニ運動会

みんなで体を動かして楽しく遊びましょう！
3B体操の皆さんと親子体操をしたり、親子でゲームをしたり、お楽しみがいっぱいです。たくさんのご参加をお待ちしています♪

〈日時〉6月14日(金)10:00～11:30
〈場所〉高砂市文化会館　展示集会室
〈対象〉ファミリーサポートセンター登録会員または子育て中の人
〈定員〉30組
〈締切〉6月12日(水)

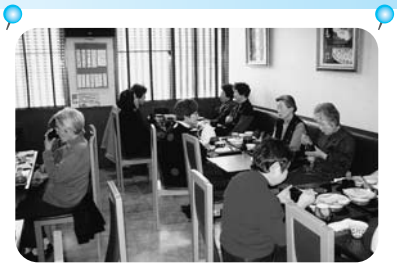
申込み問合せ　**高砂市ファミリーサポートセンター**
**TEL 442-0555　FAX 444-3031**

# 小地域福祉活動 写真展

～各地域では、「ふれあいいきいきサロン」や見守りが必要な方への「ゆうあい訪問活動」等が福祉委員や民生委員の創意工夫により、活発に行われています。今回は、２月～３月に開催された活動の一部をご紹介します。～

◆高砂町
第７福祉部会（３月９日）
マジックショーや阿波踊り、花笠踊り等盛りだくさんの催しで大盛況

◆荒井町
蓮池福祉部会（３月６日・７日）
2日間かけ準備した手作りちらし寿司と和菓子を持参し、ひとり暮らし高齢者宅を訪問



◆荒井町
中町福祉部会（２月13日）
「天繁」にて食事会を開催し親睦交流を図る

◆荒井町
小松原福祉部会（２月16日）
「回想かるた」や「スーパーすごろく」を楽しんだ後、ちらし寿司とすまし汁で食事会

◆伊保町
伊保西部福祉部会（３月12日）
体操やゲームで頭と体を動かした後、高齢者向け交通安全と振り込め詐欺の講話を聴く

◆伊保町
三ノ島福祉部会（３月３日）
「播州弁かるた」や「ゲームレール」「ビンゴゲーム」等で大いに盛り上がる

◆中筋校区
中筋１丁目福祉部会（２月17日）
兵庫県広域防災センターを見学、講義や体験学習を通して防災意識を高める

◆曽根町
南之町福祉部会（３月17日）
市の出前講座で「防災対策の現状」について学んだ後、食事会で談笑

◆米田町
島福祉部会（２月８日）
節分行事を開催、豆まきで鬼払いをした後ゲームで心も体も温まり楽しいひと時

◆阿弥陀町
生石福祉部会（２月10日）
「早川一光の爆笑ステージ」のDVDを観賞後、タオルを使ったストレッチ体操でリラックス

◆阿弥陀町
魚橋南福祉部会（２月９日）
松陽大学ボランティアグループによる銭太鼓や民舞等、日頃の成果を披露して頂き楽しいひと時

◆北浜町
西浜福祉部会（２月２日）
散歩やストレッチ体操等で体を動かした後、モーニングを頂きながら歓談

紙面の都合上、一部の活動のみ掲載しています。この他にも、活動されている地区がたくさんあります。ぜひ、お近くのいきいきサロン等へご参加ください。

# 善意銀行寄附状況

～あたたかい善意をありがとうございました。高砂市の福祉活動に役立てます。～

2013.3.1～3.31　※敬称略

## ー金銭の部ー

| 地区 | 氏　名 | 金額(円) | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 高砂町 | 玉　野　　俊　行 | 2,000 | 福祉のために |
| 曽根町 | 松陽学園学生自治会 | 25,012 | 福祉のために |
| 米田町 | 匿　　名 | 3,499 | 福祉のために |
| | 匿　　名 | 10,000 | 福祉のために |
| | 匿　　名 | 10,000 | 福祉のために |
| | 匿　　名 | 10,000 | 福祉のために |
| 阿弥陀町 | 匿　　名 | 1,000 | 福祉のために |
| その他 | 大阪ガス㈱「小さな灯運動」兵庫支部 | 20,000 | チャリティーカレンダー募金として |
| | 中田　智恵海 | 20,000 | 福祉のために |

**【東日本大震災救援募金者名簿】**

※平成25年3月1日～3月31日まで受付分（敬称略）

伊保小学校PTA　14,564円、石田教室　10,000円

～受付期間が平成26年3月31日まで延長されました～

## ー物品の部ー

中筋１丁目……男性用下着21枚・靴下27足（新品）

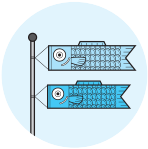
㈱リョーイン高砂営業所…コピー用紙A4 2冊　B4 5冊

## ー外国コイン・古切手・使用済みカード等ー

梅谷事務所・曽根小学校・㈱優和・北浜小学校
地域ふれあいの会高砂駅前ブロック・高砂市民病院
高砂市役所健康文化部健康市民室市民課
**********
山本 貴代子・森本 勲・小川・匿名

## ー善意銀行こぼれ話ー

△大阪ガス㈱「小さな灯運動」兵庫支部



平成25年度

# 手話奉仕員養成講座

～聴覚障がい者と手話で楽しくおしゃべりしませんか？～

手話通訳に関する基本的な技術・知識の習得を目指すものです。
今年度は入門課程を開催します。

**期　間**：平成25年5月24日(金)～10月4日(金)
毎週金曜日　10:00～12:00（全20回）

**場　所**：高砂市福祉保健センター2階　視聴覚障害者室　他

**参加費**：1,000円（別途テキスト代：1,200円必要）

**対　象**：手話やボランティア活動に興味・関心のある方

**定　員**：20名　※締切り：5月17日(金)
※ただし、定員になり次第、募集を締め切らせていただきます。

お申込み・お問合せは…
**高砂市社会福祉協議会**（担当 山本、亀田）
TEL：443－3408　FAX：444－4865
保育を希望される方はご相談下さい。

この講座は、高砂市からの委託事業です。

## おはなしボランティア養成講座

～絵本の読み聞かせやストーリーテリング（お話）の技術を学び、ボランティア活動をはじめてみませんか～

期　間：5月22日（水）～7月10日（水）
毎回水曜日
10:00～12:00（全8回）
場　所：福祉保健センター 3階 会議室1
対　象：ボランティア活動や絵本の読み聞かせに関心のある方　20名
参加費：500円
締　切：5月15日（水）
※講座修了者には修了書を交付します。

## 要約筆記ボランティア養成講座

～耳の不自由な方に、言葉を文字に変えて情報を伝えるサポーターになりませんか～

期　間：5月23日（木）～7月25日（木）
毎週木曜日
9:30～12:00（全10回）
場　所：福祉保健センター 3階 会議室1 他
対　象：ボランティア活動や要約筆記に関心のある方　15名
参加費：1,000円
※テキスト代1,000円（別途必要）
締　切　5月16日（木）
※講座修了者には修了書を交付します。

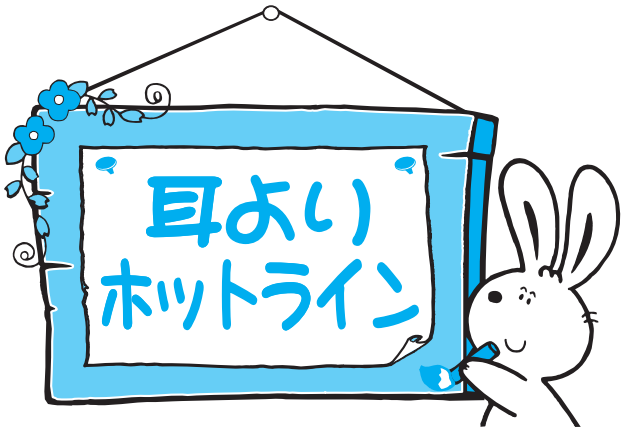
## 話し相手ボランティア入門講座

この講座は、対人関係の基本であるコミュニケーションについて学び、施設や病院、地域など幅広い範囲で活動をするボランティアの養成を図ることを目的に開催します。

あなたも聞き上手、話し上手になって、いろいろな人と交流してみませんか？

期　間：6月19日（水）～7月17日（水）
全5回
場　所：福祉保健センター 3階 会議室1、市内福祉施設
参加費：500円
対　象：これからボランティア活動を始めようと思っている方
地域やいきいきサロン・施設や病院などで活動されている方など　20名
締　切：6月12日（水）

**申込み・問合せ先**
高砂市ボランティア活動センター
☎ 442-4047




～家族の介護をされている方、一緒に悩みを分かち合い共感し合える仲間と交流しませんか～

## 高砂市支えあう介護者の会「すずらんの会」

日　時：5月8日（水）13:30～15:00
場　所：文化会館 1階 展示集会室
内　容：総会

**申込み・問合せ先**
高砂市保健センター
☎ 443-3936

～介護でお悩みの方、気軽にご参加ください～

## 認知症の人をささえる家族の会「いるかの会」

日　時：5月21日（火）14:00～15:45
場　所：福祉保健センター 3階 会議室1
内　容：総会及び懇談会

**申込み・問合せ先**
高砂市社会福祉協議会
☎ 444-3020

## 認知症サポーター養成講座

～認知症を知り、認知症の人と接するポイント等について学びませんか?～

日　時：5月22日（水）
13:30～15:00
場　所：福祉保健センター 3階 集会室
対　象：高砂市民 若しくは 高砂市内にお勤めの人
内　容：認知症について正しく理解し認知症の人と接する時どうすればいいか等について学びます。

**申込み・問合せ先**
高砂市地域包括支援センター
☎ 443-3723